



LX MKII シリーズ  
取扱説明書

# 正しく安全にお使いいただくために

この製品を設置する前に、以下の指示を必ずお読みください



この記号は、本製品に付属する文書に重要な操作およびメンテナンスに関する指示が記載されていることを示しています

以下の指示をよくお読みのうえ、必ず守ってください。

本書を大切に保管し、いつでも確認できるようにしてください。

接続を行う前に、システムに接続されているすべての機器の電源を切ってください。

システムの電源を入れる際やソースを切り替える際は、ボリュームを最小に設定し、音量は徐々に上げてください。

アンプを最大音量で使用しないでください。

アンプの電源をONにする前にシステム内のすべてのスピーカーが正しく配線、結線されていることを確認してください。

スピーカーを過度の寒さ、熱、湿気、または直射日光にさらさないようにしてください。

スピーカーの上に重い物を置かないでください。

スピーカーの設置に不安がある場合は販売店にご相談ください。

スピーカー端子を電源に接続しないでください。

スピーカーを分解しないでください。

内部にはユーザーが修理できる部品はありません。分解を行うと保証が無効になります。

修理が必要な場合は、必ず資格を持つサービス担当者に依頼してください。

機器が損傷した場合、雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、または落下した場合は、修理が必要です。

注意：製造元から明示的に承認されていない変更や改造を行った場合、ユーザーによる本製品の使用权が無効になることがあります。

## 開梱

フロアスタンディングタイプは重いので開梱する際はできるだけ2人以上で行うことをおすすめします。

スピーカーは梱包から慎重に取り出してください。危険なので保護袋を使って持ち上げないように注意してください。

付属品も丁寧に取り出してください。

もし商品に損傷があったり、内容物が不足していた場合は、すぐに販売店か代理店にご連絡ください。

今後の安全な輸送のために梱包材は保管しておいてください。

梱包材を処分する際は、お住まいの地域のリサイクル規定に従って適切に処分してください。



**WARNING:**

アンプが出力能力を超えて駆動されると、歪んだ波形が発生し、スピーカーが過熱して故障する原因となります。

アンプをONの状態ですべてのスピーカーを長時間放置しないようにし、音に歪みが生じた場合は、直ちにボリュームを下げてください。

---

## 保証について

本保証の諸条件は、購入者に対してのみ適用され、譲渡不可であるため、販売店が保証内容を変更することはありません。

購入証明として、販売時の領収書を保管してください。

保証請求は、可能な限り購入した販売店を通じて行ってください。

保証期間や適応条件などは合同会社ヴィアトロニクスが発行する保証書(別紙)をご参照ください。

---

## 製品に関する基本的な情報や取り扱いについて



スピーカーを設置する前に、本書の指示をよくお読みください。  
このマニュアルを読んでいただくだけで、長年にわたりスピーカーの優れた性能を発揮することができます。  
このシンボルが付けられたページに記載されている注意事項にも十分ご注意ください。

---

# はじめに

Missionは、Hi-Fiなオーディオ性能と現代的なデザインを見事に融合させたライフスタイルオーディオブランドです。「音楽が主役でありテクノロジーはあくまで音楽を支える道具である」という理念のもと、常に音楽本来の魅力を引き出すことにこだわっています。

LX MKIIシリーズは、Missionの長い歴史を彩る最新のスピーカーラインです。高度な技術と精緻な設計に裏打ちされたこのシリーズは、最上級の音質と美しいデザインを兼ね備え、インテリアに調和します。専用設計のバスドライバーコーン、精密にチューニングされたモーターシステム、そして最先端のツイーターが、クリアで力強い音を生み出します。Mission LX MKIIスピーカーは、あなたの音楽体験を何年にもわたって豊かにし、深い満足感を提供し続けることでしょう。

## 製品に関する基本的な情報や取り扱いについて



スピーカーを設置する前に、本書の指示をよくお読みください。このマニュアルを読んでいただくだけで、長年にわたりスピーカーの優れた性能を発揮することができます。このシンボルが付けられたページに記載されている注意事項にも十分ご注意ください。

## 設置の準備

Mission LX MKIIシリーズのフロアスタンディングモデルには、使用前に付属のスパイクを取り付ける必要があります。付属のネジを使って、プランスをスピーカーの底部にしっかりと固定してください。ネジは十分に締めてください。その他のモデルについてはこのような作業は必要ありません。

スピーカー背面にあるバスレフポートのフォームバングを取り外してください。LX MKIIシリーズのスピーカー(LX-C1 MKIIおよびC2 MKIIを除く)はすべてバスレフ型エンクロージャーです。フォームバングは通常は必要ありませんが、壁際に設置するなどの特定の環境では、低音の調整や共鳴の抑制に役立つ場合があります。

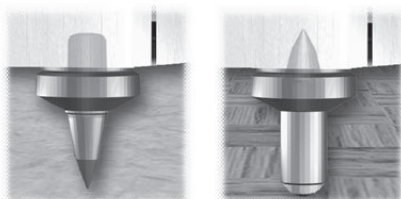
フォームバングを各スピーカーのポートに取り付け、リスニング環境に合わせて調整してください。フォームバングは、オリジナルの梱包材やマニュアルと一緒に保管しておくことをお勧めします。

## スパイクの取付



スパイクは鋭利な形状です。怪我をしないように十分注意してください。

- ・スピーカーを逆さまにして、天面を毛布やカーペットなど柔らかい布の上に置いてください。
- ・各スパイクにナットを取り付けます。
- ・スパイクをキャビネットの底部にあるブッシュにねじ込んでください。カーペットの上では鋭い端を、硬い床ではドーム型の端を使ってください。
- ・スピーカーを慎重に上下逆に正しい姿勢に戻します。(2人以上で作業することをお勧めします。)
- ・スパイクがカーペットの下の床面やケーブルなどを傷つけないよう、位置を確認してください。
- ・スピーカーが安定し水平になるよう、スパイクの高さを調整します。必要に応じて、スパイクをねじ込んだり引き出したりして調整してください。

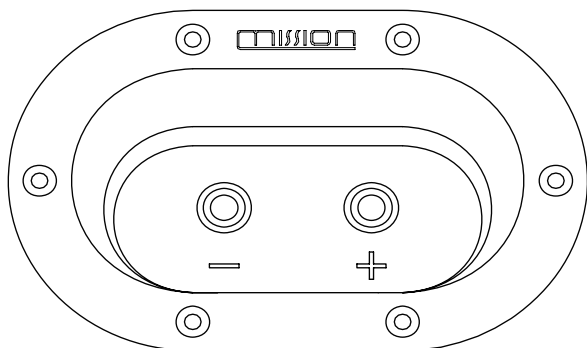


## スピーカーケーブルの結線

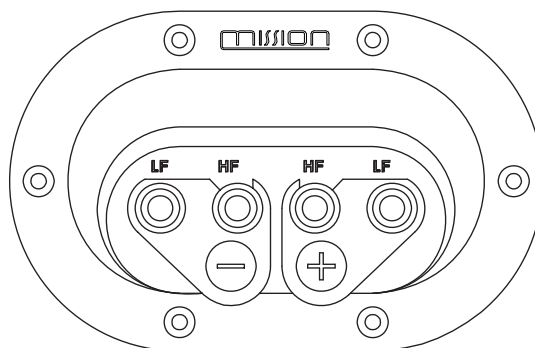
一般的にスピーカーケーブルには極性があります。＋が正しく接続されるようにしてください。  
 ケーブルによっては片側に極性を示すマーキングがあります。  
 ケーブルを約25mm以上割き、各ケーブルの絶縁被覆を8mm取り除いてください。  
 ケーブルが撚り線の場合、先端をねじり余分な線が反対側の端子に接触しないようにしてください。



## スピーカーターミナルと結線方法

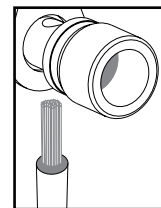


シングルワイヤード(LX-1 MKII/ LX-2 MKII/ LX-3 MKII)



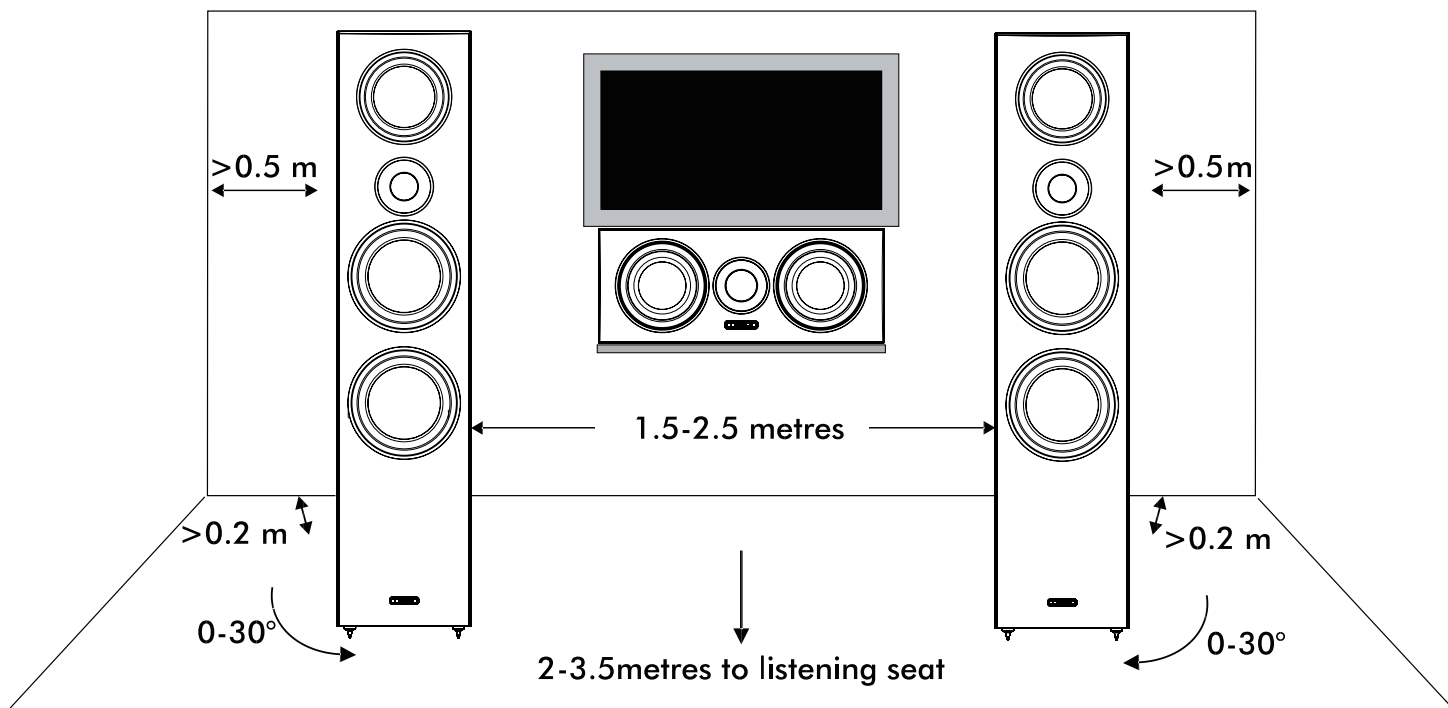
バイワイヤード(LX-4 MKII/ LX-5 MKII/ LX-6 MKII)

スピーカーターミナルのネジを緩め、露出させたケーブルの芯線をクロスホールに通します。  
 このとき、余分なケーブルの芯線が出ていないことを確認してください。  
 その後ターミナルをしっかり締めます。緩みがなく簡単にケーブルが抜けられないことを確認してください。



スピーカーの赤い(+)端子を、アンプの対応する赤い(+)端子に接続します。  
 同様に、黒い(-)端子同士も接続します。  
 Lch(左)、Rch(右)また使用する全てチャンネルについて同様の手順を繰り返してください。

## スピーカーの設置位置



## フロアスタンディングモデル及びブックシェルフモデル

フロアスタンディングタイプは、床に設置することが推奨されます(なるべくスパイクを使用してください)。一方、ブックシェルフスピーカーは、しっかりとしたスタンドに設置するのが最適で、可能であればスタンドもスパイクを使用してください。

スタンドマウントする場合、座っているリスナーの耳の高さとスピーカーの上部が揃うような配置にしてください。

推奨されるスピーカー設置位置はを背面の壁から約30cm以上、左右1.8mの間隔です。スピーカーと側面の壁との距離は、少なくとも500mmを確保することが推奨されます。その後、スピーカー間の距離や壁からの距離を調整し、理想的なステレオイメージが得られるようにしてください。

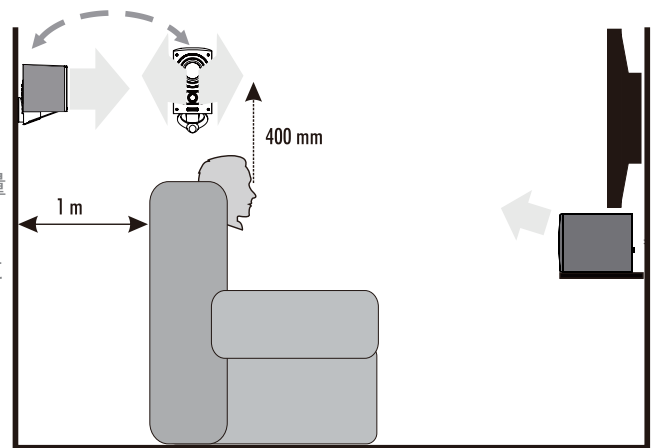
正しい位置に設置されていれば、スピーカーからは豊かでクリアな高音と、深みのある低音が再生されます。

## センター及びサラウンドスピーカー

センタースピーカー(LX-C1 MKII、LX-C2 MKII)は、テレビの上の棚や、テレビの下に設置できるキャビネットやスタンドに設置してください。テレビの上部に置く場合は、設置する棚やサポートがスピーカーの重量に耐えられることを確認し、安定するように設置してください。

また、センタースピーカーは左右のスピーカーの中央に位置するように配置し、アンプのセンターチャンネル出力に接続してください。接続方法が不明な場合は、アンプの取扱説明書を確認するか、販売店にご相談ください。

CRTテレビ(古いタイプのブラウン管テレビ)を使用している場合、スピーカーはテレビ画面から450mm以内に設置しないでください。



サラウンドスピーカー(LX-3D Surround MKII)は、リスニング位置の頭上に設置し、左右または後方に配置してください。サイドウォールやリアウォールにスタンドやブラケットで取り付けることができますが、必ずリスナーの後方に配置するようにしてください。

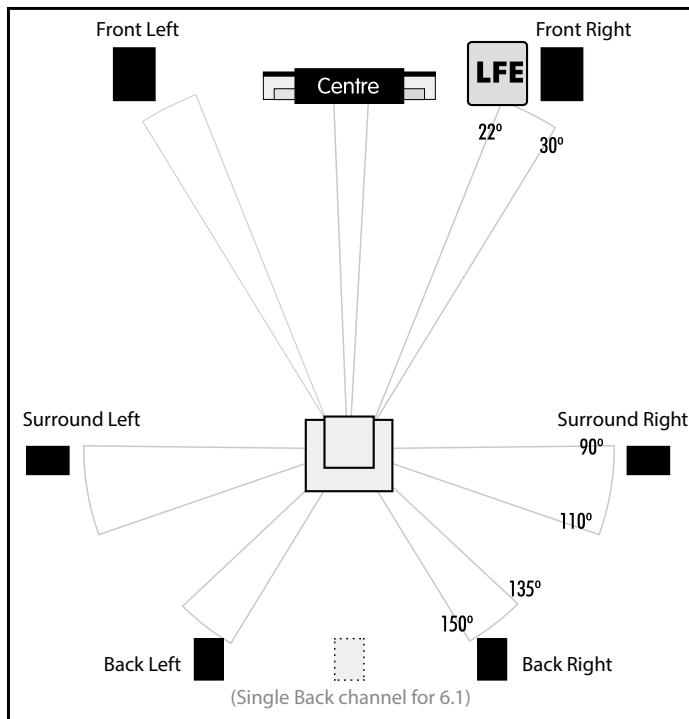
LX-3Dは、Dolby AtmosやDTS:Xシステムなど、縦方向のチャンネルを使用するホームシアターにも対応しています。この場合、LX-3Dを前方のスピーカーの上に設置し、ドライバーユニットが上を向くように配置します。

## 位相

スピーカーの位相を確認するには、スピーカーターミナルとアンプのスピーカー出力端子の配線が同じ極性になっている事を確認してください。

スピーカーが正しく接続されていれば、音像が正しく定位し、豊かでクリアな中音域と深く力強い低音が再生されます。

## ホームシアターにおける配置・設置位置



### ■フロントスピーカー

フロントスピーカーは、テレビの両脇に2～3メートルの間隔をあけて配置してください。

スピーカーは、リスナーに向かって少し角度をつけて設置すると、より良い音場が得られます。

### ■リアサラウンドチャンネル

リアスピーカーは、リスニングポジションの後方の

できるだけ高い位置に設置することをおすすめします。

もし後ろの壁がリスニング席から1メートル以上離れている場合は、代わりにサイドウォールに設置することもできます。

壁がリスニング席からかなり遠い場合は、スピーカースタンドを使用して設置するのも一つの方法です。

### ■センターチャンネル

多くの場合セリフはセンターチャンネルに割り振られます。

セリフは俳優の口元から直接聞こえてくるように感じる事が望ましく、そのためには設置位置の高さが重要です。

理想的には、フロントスピーカーとセンタースピーカーは同じ高さですが、難しい場合はそれぞれの高さがなるべく近くなるように調整してください。

また、センタースピーカーの前面がテレビ画面の全面と揃うように設置してください。

## スピーカーの清掃

スピーカーキャビネットは、乾いた布で拭いてください。指紋などを取る場合は、軽く湿らせた布で拭き取ります。グリル部分は、必要に応じてソフトブラシを使い、スピーカー本体を傷つけないように優しく掃除してください。

## アフターサービス

アフターサービスを受けるには、この製品を購入した販売店に連絡し、購入証明書と保証書を提示してください。事前に販売店、代理店(弊社)の承諾なしに商品を返送しないでください

製品を検査、または修理のために返送する場合、元箱や同等の保護ができる梱包材を使用し、厳重に梱包した上でなるべく保険付きの追跡可能な宅急便で返送するなどのご配慮をお願いいたします。不適切な梱包が原因の破損が確認された場合、保証が無効となる可能性がありますのでご注意ください。

検査の結果「不具合なし」「修理不要」と判断された場合、返送費用はお客様のご負担となります。

修理は輸入代理店(弊社)によって行われます。

弊社の承認または許可なく処理された第三者による修理作業が行われていると判断した場合保証対象外となります。

弊社は公式な販売店以外に修理サービスや部品、交換品を提供することはできません。

別紙の保証書に記載された内容に加えて、Mission及び代理店(弊社)、販売店は次の事項に対して責任を負いません。Mission製品に接続された製品に対する損失、損害、または故障。

修理のために製品を返送する場合は購入した販売店、もしくは弊社にご返送ください。

弊社にご返送される場合は事前に下記の連絡先までご連絡ください。

返送先、返送に際しての注意事項をご案内いたします。

Mission 輸入代理店

合同会社ヴィアトロニクス

045-548-6595

info@fbdaudio.jp

営業時間: 10時～17時(土日祝祭日および年末年始、お盆、その他弊社の定める休日)

MISSION